

熊本県立荒尾支援学校進路便り

わーく&らいふ

令和3年度 第1号(通巻62号) 4月22日 発行

■CONTENTS■

【学校長寄稿】 「一人でできるチャンス」の大切さ

【トピック】 新施設紹介 多機能型事業所 WAKABA



学校長寄稿「一人でできるチャンス」の大切さ 校長 松本英雄

4月1日付けで本校校長として赴任しました松本です。自宅は八代市で(単身赴任もがんばります!),荒尾支援学校は初めての勤務となりますが、本校職員と力を合わせて精一杯取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、昨年度前任校でのこととなりますが、ある小学部1年生のお話です。入学したての頃は、ちょっぴり甘えんぼさんで、登校後、送迎の車を降りた後はお母さんと手をつないで、引っぱられるように駐車場から玄関まで歩いていました。そのお母さんの様子を見てみると、必ずカバンを自分で持つように促しておられるのが分かりました。半年ほど経ったある日、気づくとお母さんはその子の前を早足で歩いておられました。様子を気にかけながら、つかず離れずの距離を保ちつつも、あえてその子の手が届かないように歩いておられました。お母さんが「一人で玄関まで歩いて行けるように」と願い、毎日繰り返し取り組んでおられるのが分かりました。甘えんぼさんは少しずつたくましくなっていき、1年後にはニコニコと余裕の笑顔を見せながら、一人で玄関まで歩いて行けるようになりました。

このお母さんを見ていて、すごいなと感じたのは、子どもさんに対して「一人のできるチャンス」を毎日与えておられたところでした。慌ただしい時間帯、でもその数分間は子どもさんのために使おうと決めておられたのでしょう。その子は「一人のできるチャンス」に毎日チャレンジし、見事に一つの力を獲得しました。そうして、お母さんの次の一歩は続いていくのだと思います。

学校での取組も同じです。児童生徒一人一人それぞれの目標に対して、「できるためのヒント」を示しながら「一人のできるチャンス」を与え、信じて待つ。結果を急いではいけません。難しいようなら、目標や「できるためのヒント」の見直しです。自分で考えたり、試したり、失敗を乗り越えるという「一人のできるチャンス」にじっくりと取り組む経験を通してこそ、自分でできる力はより確かなものになります。

中学部、高等部と年齢を重ねるにつれ、よりレベルの高い「一人のできるチャンス」を与えたいものです。自分で選び、自分で決めるという経験を日々積み重ねていくこと

が、自分の意思で自分の人生をコントロールする力を高めることに繋がっていきます。学校とご家庭と連携して、お子様の「一人のできるチャンス」を考えていけたらと思います。1年間どうぞよろしくお願いいたします。



新施設紹介 多機能型事業所 WAKABA

(玉名市溝上字田代527番地1)

◆社会福祉法人 若葉会

平成14年設立。玉名市で障害福祉サービスを経営するほか、玉東町では放課後児童健全育成事業(学童保育)と放課後等デイサービスを共生型で運営するなど、地域に必要とされる法人運営を目指しておられます。

玉名市立玉名町小学校に隣接してあった「若葉作業所」が、旧玉名市立月瀬小学校校区へ新築移転。

4月から「多機能型事業所WAKABA」として生まれ変わりました。小学校の統廃合により寂しくなった溝上地区の皆さんの力もお借りして、活気と賑わいを創造しようと意気込んでおられます。この春の卒業生2名も契約しており、早速施設訪問に出かけました。

■サービスの多機能化

若葉作業所は、無認可の作業所時代から玉名の障がい福祉を支え続けてきた老舗の存在で、育成会活動の核としての役割も担ってこられました。しかし、施設の狭あい化や、利用者の高齢化、障がいの多様化等に対応するため、これまでの「就労継続支援B型(定員15名)」に「生活介護(定員10名)」を追加しました。増えた定員分はすぐに埋まる勢いですが、「ニーズがあれば定員増も想定内。」と施設長。頼もしいお言葉でした。さらに2階建ての新拠点にはホームエレベータも設置。2階に3室のショートステイ個室も整備されました。(現在受け入れは準備中)

■「作業」へのこだわりも継続

今回施設の名称から「作業所」の文字はなくなりましたが、長年「作業所」として培ってきた施設の風土は、「WAKABA」へもしっかりと引き継がれています。(写真はコロナ感染対策も兼ねてパーティションを設置し構造化された作業風景)

■施設長より~新拠点に込める想い~

「新しいWAKABAのチャレンジ。これまで想いを共有してきた方たちと共にスタートする営みが、新たな出会いを芽吹かせ、笑顔の花を開かせ、ご縁の実を結んでいく。より良きご縁は、希望のタネを運び、次第に関係性を茂らせながら、やがて実りある森と広がっていく。そんなイメージを持って、新拠点を「WAKABA forest」と名付けました。」

こう語る谷口さんは、地域の大学で学び、地域に根を下ろし、地域からの信頼も厚い方です。ますますのご活躍が期待されそうです!

(取材 進路指導主事 谷口)



統括施設長の谷口さん